

健康リスク初期評価 再評価物質の新旧結果 (再評価を実施した5物質を再掲)

番号	物質名 [CAS番号]	ばく露経路	前回の評価結果							第1次とりまとめ評価結果(注1)							変更概要					
			有害性の知見(注2)			ばく露評価(注2)		MOE (注2,3)	リスクの判定 (注4,5)	総合的な判定 (注2,5,6,7,8)	とりまとめ	有害性の知見(注2)			ばく露評価(注2)			MOE (注2,3)	リスクの判定 (注5)	総合的な判定 (注5,6)		
			無毒性量等	動物	影響評価指標 (エンドポイント)	ばく露の媒体	予測最大ばく露量・濃度					無毒性量等	動物	影響評価指標 (エンドポイント)	ばく露の媒体	予測最大ばく露量・濃度						
2	アクリル酸ブチル [141-32-2]	経口	8.4 mg/kg/day	ラット	肝臓相対重量の増加	飲料水	—	μg/kg/day	—	×	○	第7次	8.4 mg/kg/day	ラット	肝臓相対重量の増加	飲料水	—	μg/kg/day	—	×	(○)	・有害性の知見については変更なし。 ・ばく露データの見直しにより、一般環境大気の吸入ばく露の総合的な判定結果については「現時点では作業は必要ないと考えられる」に変更された。
						地下水	< 0.0004	μg/kg/day	> 2,100,000	○						地下水	—	μg/kg/day	—	×		
		吸入	1.3 mg/m <sup>3</sup>	ラット	嗅上皮の萎縮、過形成など	一般環境大気	—	μg/m <sup>3</sup>	—	×	(▲)	第7次	1.3 mg/m <sup>3</sup>	ラット	嗅上皮の萎縮、過形成など	一般環境大気	0.042	μg/m <sup>3</sup>	3,100	○	○	
						室内空気	—	μg/m <sup>3</sup>	—	×	×					室内空気	—	μg/m <sup>3</sup>	—	×	×	
10	酢酸2-エトキシエチル [111-15-9]	経口	500 mg/kg/day	マウス	精巣や精囊の重量、精子の減少など	飲料水	—	μg/kg/day	—	×	○	第6次	500 mg/kg/day	マウス	精巣や精囊の重量、精子の減少など	飲料水	—	μg/kg/day	—	×	(○)	・有害性の知見については変更なし。 ・ばく露データの見直しにより、一般環境大気の吸入ばく露の総合的な判定結果については「現時点では作業は必要ないと考えられる」に変更された。
						地下水	< 0.002	μg/kg/day	> 25,000,000	○						地下水	—	μg/kg/day	—	×		
		吸入	34 mg/m <sup>3</sup>	ウサギ	胎仔の低体重、骨化遅延など	一般環境大気	—	μg/m <sup>3</sup>	—	×	(▲)	第6次	34 mg/m <sup>3</sup>	ウサギ	胎仔の低体重、骨化遅延など	一般環境大気	0.14	μg/m <sup>3</sup>	24,000	○	○	
						室内空気	7.0	μg/m <sup>3</sup>	490	○	○					室内空気	16	μg/m <sup>3</sup>	210	○	○	
11	ジシクロペンタジエン [77-73-6]	経口	0.4 mg/kg/day	ラット	副腎の変性	飲料水	—	μg/kg/day	—	×	○	第6次	0.4 mg/kg/day	ラット	副腎の変性	飲料水	—	μg/kg/day	—	×	(○)	・有害性の知見については変更なし。 ・ばく露データを見直したが、総合的な判定結果に変更はなかった。
						地下水	< 0.0004	μg/kg/day	> 100,000	○						地下水	—	μg/kg/day	—	×		
		吸入	0.5 mg/m <sup>3</sup>	ラット マウス	肝臓相対重量の増加 生存率の低下	一般環境大気	—	μg/m <sup>3</sup>	—	×	(▲)	第6次	0.5 mg/m <sup>3</sup>	ラット マウス	肝臓相対重量の増加 生存率の低下	一般環境大気	< 0.0025	μg/m <sup>3</sup>	> 20,000	○	(▲)	
						室内空気	—	μg/m <sup>3</sup>	—	×	×					室内空気	—	μg/m <sup>3</sup>	—	×	×	
13	1,3,5-トリメチルベンゼン [108-67-8]	経口	14 mg/kg/day	ラット	肝臓相対重量の増加など	飲料水	—	μg/kg/day	—	×	(○)	第7次	14 mg/kg/day	ラット	肝臓相対重量の増加など	飲料水	—	μg/kg/day	—	×	○	・有害性の知見については変更なし。 ・ばく露データを見直したが、総合的な判定結果に変更はなかった。
						淡水	—	μg/kg/day	—	×						淡水	< 0.0018	μg/kg/day	> 780,000	○		
		吸入	— mg/m <sup>3</sup>	—	—	一般環境大気	2.3	μg/m <sup>3</sup>	—	×	(▲)	第7次	— mg/m <sup>3</sup>	—	—	一般環境大気	1.6	μg/m <sup>3</sup>	—	×	(▲)	
						室内空気	11	μg/m <sup>3</sup>	—	×	(▲)					室内空気	21	μg/m <sup>3</sup>	—	×	(▲)	
18	メタクリル酸メチル [80-62-6]	経口	5 mg/kg/day	ラット	腎臓相対重量の増加	飲料水・食事	—	μg/kg/day	—	×	【▲】	第3次	5 mg/kg/day	ラット	腎臓相対重量の増加	飲料水	—	μg/kg/day	—	×	○	・有害性の知見については変更なし。 ・ばく露データの見直しにより、経口ばく露及び室内空気の吸入ばく露の総合的な判定結果については「現時点では作業は必要ないと考えられる」に変更された。
						地下水・食事	—	μg/kg/day	—	×						地下水	< 0.00032	μg/kg/day	> 1,600,000	○		
		吸入	18 mg/m <sup>3</sup>	ラット	嗅上皮の変性及び萎縮、基底細胞の過形成など	一般環境大気	0.087	μg/m <sup>3</sup>	21,000	○	【○】	第3次	18 mg/m <sup>3</sup>	ラット	嗅上皮の変性及び萎縮、基底細胞の過形成など	一般環境大気	0.3	μg/m <sup>3</sup>	6,000	○	○	
						室内空気	—	μg/m <sup>3</sup>	—	×	【×】					室内空気	2	μg/m <sup>3</sup>	900	○	○	

(注1) 表中の網掛けは、前回評価結果からの変更箇所を示す。

(注2) —：無毒性量等が設定できなかった、あるいは予測最大ばく露量・濃度が設定できなかった場合、MOEの算出ができなかった場合、総合的な判定が行われなかった場合。

(注3) MOE：無毒性量等を予測最大ばく露量、あるいは予測最大ばく露濃度で除した値。但し、無毒性量等を動物実験から設定した場合には10で除し、さらにヒトで発がん作用があると考えられる場合には最大10で除して算出する。

(注4) 「リスクの判定」は、第5次とりまとめでは「リスク評価の結果」という項目名で表記されている。

(注5) ○：現時点では作業は必要ない、▲：情報収集に努める必要がある、■：詳細な評価を行う候補、×：現時点ではリスクの判定はできない。

(注6) リスク評価の指標が設定できない場合やばく露情報が把握されていないためにMOEが算出できず、リスクの判定ができなかった場合でも、関連情報から情報収集等の必要性について推定できた場合には、健康リスク評価分科会による総合的な判定により下記の通り分類した。

(○)：情報収集等を行う必要性は低いと考えられる、(▲)：情報収集等を行う必要性があると考えられる、(■)：詳細評価を行う候補と考えられる。

(注7) 総合的な判定の欄において、第3次とりまとめの評価内容を第6次とりまとめ以降の表記形式で記載すると、【】内に示したようになる。

(注8) 第3次とりまとめでは、「総合的な判定」は表記されていない。